

猶、農民組合が其の選挙区域内に於て應援演説會を設け、所請備して候、候補者が後援の爲め出席した。

敗因

一、制限選挙制下のため、一、運動資金の不足、二、宣傳演説會の不足、三、選挙区の下に於ける選挙の準備の不足、四、選挙の準備の不足、五、選挙の準備の不足、六、選挙の準備の不足、七、選挙の準備の不足、八、選挙の準備の不足、九、選挙の準備の不足、十、選挙の準備の不足、十一、選挙の準備の不足、十二、選挙の準備の不足、十三、選挙の準備の不足、十四、選挙の準備の不足、十五、選挙の準備の不足、十六、選挙の準備の不足、十七、選挙の準備の不足、十八、選挙の準備の不足、十九、選挙の準備の不足、二十、選挙の準備の不足、二十一、選挙の準備の不足、二十二、選挙の準備の不足、二十三、選挙の準備の不足、二十四、選挙の準備の不足、二十五、選挙の準備の不足、二十六、選挙の準備の不足、二十七、選挙の準備の不足、二十八、選挙の準備の不足、二十九、選挙の準備の不足、三十、選挙の準備の不足、三十一、選挙の準備の不足、三十二、選挙の準備の不足、三十三、選挙の準備の不足、三十四、選挙の準備の不足、三十五、選挙の準備の不足、三十六、選挙の準備の不足、三十七、選挙の準備の不足、三十八、選挙の準備の不足、三十九、選挙の準備の不足、四十、選挙の準備の不足、四十一、選挙の準備の不足、四十二、選挙の準備の不足、四十三、選挙の準備の不足、四十四、選挙の準備の不足、四十五、選挙の準備の不足、四十六、選挙の準備の不足、四十七、選挙の準備の不足、四十八、選挙の準備の不足、四十九、選挙の準備の不足、五十、選挙の準備の不足、五十一、選挙の準備の不足、五十二、選挙の準備の不足、五十三、選挙の準備の不足、五十四、選挙の準備の不足、五十五、選挙の準備の不足、五十六、選挙の準備の不足、五十七、選挙の準備の不足、五十八、選挙の準備の不足、五十九、選挙の準備の不足、六十、選挙の準備の不足、六十一、選挙の準備の不足、六十二、選挙の準備の不足、六十三、選挙の準備の不足、六十四、選挙の準備の不足、六十五、選挙の準備の不足、六十六、選挙の準備の不足、六十七、選挙の準備の不足、六十八、選挙の準備の不足、六十九、選挙の準備の不足、七十、選挙の準備の不足、七十一、選挙の準備の不足、七十二、選挙の準備の不足、七十三、選挙の準備の不足、七十四、選挙の準備の不足、七十五、選挙の準備の不足、七十六、選挙の準備の不足、七十七、選挙の準備の不足、七十八、選挙の準備の不足、七十九、選挙の準備の不足、八十、選挙の準備の不足、八十一、選挙の準備の不足、八十二、選挙の準備の不足、八十三、選挙の準備の不足、八十四、選挙の準備の不足、八十五、選挙の準備の不足、八十六、選挙の準備の不足、八十七、選挙の準備の不足、八十八、選挙の準備の不足、八十九、選挙の準備の不足、九十、選挙の準備の不足、九十一、選挙の準備の不足、九十二、選挙の準備の不足、九十三、選挙の準備の不足、九十四、選挙の準備の不足、九十五、選挙の準備の不足、九十六、選挙の準備の不足、九十七、選挙の準備の不足、九十八、選挙の準備の不足、九十九、選挙の準備の不足、一百、選挙の準備の不足、

此の選挙に對し、農産支部の一派の人々及び左翼團體から、民意党幹部部の陰謀と云ふ漢然たる名目の下に攻撃を受け、たが懸念の結果、果して解任の憂に陥る事になつたか、幸甚幸甚、上は復讐、下は復讐、程度には三つに止つた。これに對して、新聞及農産者新聞は此の問題を故意に誇大に報道して、中傷を試みたが、党には何等の影響を及ぼさず、反して彼等の勢力を益々弱くした。

福岡縣第十区補政選挙に候補立に際し

吾等の態度を声明し全国同志諸元の援助を乞ふ。

暴族極りなき食養の犠牲となつて居る二十万の坑夫諸君が、数千里の地の底に、血を搾り、骨を削られ、所、筑豊炭田の一角に、今補政選挙が行はれる。唄はれたるは、制限選挙の最後の餘瀝である。もとよりアルシヨアサイに、絶体的有利な條件で、過去十数年、末彼等の手に依つて固められたる彼等の堅城に、據つて行はるる選挙である。我々が此の選挙区域に於て、彼等と勝敗を争ふ事、如何に無意味であるか、其の事情は、精通しない者でなく、直ちに想像する事か出来る。かれ共、筑豊のアルシヨアサイが、暴族狂悖。限りを盡して、無産大家を、凌ぐ事、を想起し、実に二十万坑夫、諸君を、擁し、乍らも、一個の労働組合として、存在させない現状を、觀る時、我等の關心と良心は、怏々として、抑へ盡す事か出来ない。そこで、我等の突然同志、木材材長、大郎君を、立候補せしめた。

我々が冀ふ所は、反動勢力の潮競の場所を、自由主義の思想を、